



城西小だより

岐阜市立城西小学校
学校だより
令和7年5月1日

学校の教育目標

輝き共に伸びる

自ら考え たくましく 思いやり
学ぶ子 やり抜く子 支え合う子

～元気で笑顔 その源の1つは「遊び」～

今から約45年前、私が小学生だった頃、どんなことをして遊んでいたか思い出してみました。学校では、毎日ドッジボールに夢中になっていました。また、下校途中は「電柱じゃんけん」をして、じゃんけんでは負けた子が、次の電柱までランドセルをもっていく遊びや、稲刈りの終わった田んぼを斜めにショートカットして帰り、地域の方に注意されたこともありました。帰宅後は、お金を握りしめ駄菓子屋さんに行き、お菓子や瓶ジュースを買ったり、近所の公園に集合して、野球をしたりしました。また、時には、たも網を持って、用水路にザリガニをとりに行ったり、小川に入って、魚やカニをつかまえたりして遊んでいました。

昔に比べ、遊び場所や遊び内容、ひょっとすると遊び時間も、大きく変化していると感じています。

学校では、2時間目の授業の後に「あおぞら」と呼ばれる休み時間が25分、給食後「昼休み」が30分あります。子どもたちは、休み時間を思い思いに過ごしています。



【遊具】



【ドッジボール】



【バスケットボール】



【竹馬】



【一輪車】



【鬼ごっこ】



【円陣バレー】



【ダンゴムシ】



【木登り】



【先生も一緒に】

遊びは、子どもたちが自分のペースで、楽しく学び、成長していくための大切な機会です。「遊んでばかり」と思ってしまいますが、遊びには、次のようなよさがあります。

- 五感の刺激→雨の音や匂い、水たまりの感触など、様々な感覚を体験し、五感を刺激します。
- 体力と運動能力の向上→走ったり、体を動かしたりすることで、心肺機能も鍛えられます。
- 社会性の育成→ルールを守って遊ぶことで、協調性やコミュニケーション能力が育ちます。
- 自立心と主体性の育成→自ら考え行動し、目標達成を経験することで、自立心や主体性が育ちます。
- 創造力の育成→自由な発想で遊ぶことで、想像力や表現力を豊かにします。
- 集中力の向上→遊びに集中することで、集中力を養うことができます。
- 問題解決能力→期せぬ出来事や困難に遭遇することで、柔軟に対応する力や問題解決能力が養われます。
- 達成感→遊びの中で、目標を達成することで、達成感を味わい、自信を育みます。
- 臨機応変に対応する力→状況に応じて柔軟に対応する力を育てます。

このように遊びは、学習や日常生活の基盤となり、成長を支える重要な要素となります。子どもたちには、たくさん遊び、たくさん学び、そして、「元気で笑顔」に生活してほしいと考えています。

5月は気候もよく、休みも多くあります。大人も、子どもたちの遊びを尊重し、一緒に楽しむことが大切です。時間の許す限り、是非ともお子さんと一緒に遊んで、お子さんもお子さんご家族の方も、「元気で笑顔」になっていただければと思います。